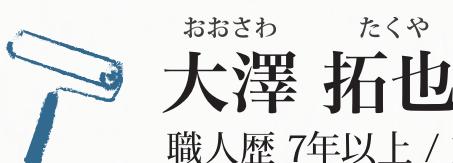


心が震えるほど美しい
仕上がりを実現するため、
ひと塗りにすべてを懸ける。



おおさわ たくや
大澤 拓也

職人歴 7年以上 / 施工棟数 250棟以上
<2019年現在>

足場が取れたときの感動を、お客様に届けるために。

息を呑むほどに美しい仕上がりを、
全身全霊を込めてお届けする。

お客様に感動いただけるほどに美しい仕上がりを提供するため、塗装工事のどんな些細な部分にも徹底的にこだわり抜いています。たとえば、足場と外壁の距離、外壁の材質や模様などを考慮して、ローラーの柄の長さや毛の性質を毎回変えて塗装します。そうすることで力の入り具合をうまく調整でき、適切な厚さで均一に塗ることが可能になります。また、ただ美しく塗るだけでなく、工事中にお客様がストレスを感じないように「何か気になることはないか」「音や匂いなどは大丈夫か」と毎日聞くなどの気配りも忘れません。

こだわり 道具
50本もの刷毛を常に保有

計50本の刷毛を常備しており、白系・黒系など、使用する塗料の色ごとに分けて使用しています。どんな塗料、どんな現場にも対応できるよう、道具の準備は入念に行なうに越したことはありません。



最高品質の塗装工事で、
絶対に満足をお届けする。

万事徹底を貫き続けてこそ真の職人。



こだわり 施工
品質に限界までこだわり抜く



洗浄

外壁や屋根を隅々までチェックして、苔や汚れを入念に洗い落としていきます。さらに、洗浄水が近隣に飛散しないよう、車にシートを被せたり、飛散しにくい角度で洗浄するなどの配慮を徹底します。



下地補修

外壁のひび割れから水が建物内部に浸入しないように、最適な方法で補修しています。例えばひび割れが深い場合には、ひびの周囲をU字にカットしてからシーリング剤を充填します。



養生

風が吹いたときに養生テープがバタバタと音を立ててしまうと眠れなくなってしまうこともありますので、決してテープがたわむことのないようにピンと張っていきます。

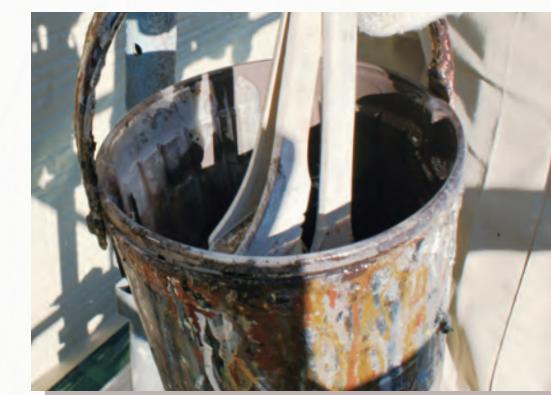


下塗り

下塗りをした後は全体をくまなく見渡して、塗料が薄くなっている箇所はないかチェックしています。最終的な仕上がりに影響が出てしましますので、均一な厚さになるように都度調整していきます。

中塗り・上塗り

塗料が多く塗られているところとそうでないところでは艶の程度に差が生じてしまうため、細心の注意を払ってムラなく塗装していきます。



大澤 拓也 プロフィール

- | | | | |
|--------|-------------|--------------|---------|
| ■ 生年月日 | 1988年11月21日 | ■ 保有資格 | 一級塗装技能士 |
| ■ 出身 | 神奈川県小田原市 | 職長・安全衛生責任者 | |
| ■ 性格 | こだわりがあって細かい | 足場の組立て等作業主任者 | |
| ■ 趣味 | 仕事 | 有機溶剤作業主任者 | |

